

テーマを決めて常任委員会ごとに意見交換 議会報告会を開催

主な意見を掲載しています。
詳細はホームページをご覧ください。

シティセールス・定住促進の取り組み

兵庫県宅地建物取引業協会明石支部
×
総務常任委員

明石の魅力をもっと多くの人に認識してもらい、市外からの転入・定住を目指す、「今、明石に住もう！キャンペーン」を実施しました。シティセールス・定住促進の取り組みについて、平成27年11月7日に兵庫県宅地建物取引業協会明石支部役員8名と意見交換しました。

転入者への支援策について

●他市では、例えば転入者に対し、特定優良賃貸住宅として家賃補助を行っている場合がある。本市でも転入者に対する継続的な支援の導入を期待する。

空き家を活用するには

●空き家の効率的な利活用のため、既存の空き家の調査を行い、再生可能な住宅を把握する必要がある。
●空き物件に関する情報提供などを行う空き家バンクを検討してはどうか。

明石の魅力を発信



JR大阪駅で行った定住促進キャンペーン

高齢者支援の取り組み

民生児童委員協議会
×
文教厚生常任委員

少子高齢化が進行する中、地域や事業者、行政等が一体となり、「誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けることができる地域づくり」を目指しています。高齢者支援の取り組みについて、平成27年10月22日に民生児童委員協議会役員10名と意見交換しました。

日頃の活動の中で感じる課題や、今後の高齢者支援の在り方について

●将来的には買い物へ出かけることが困難な方がより増加することが予想される。
●高齢者や身体が不自由な方の交通支援策について考えてほしい。
●ひとり暮らし高齢者に対する保健飲料の配付は、安否の確認に役立っているの継続してほしい。
●老老介護の世帯や家族が仕事に行っている中、ひとり暮らし高齢者は、ひとり暮らし高齢者台帳には載っていない

め、このような方の見守りをどうしていくのが課題だ。

●民生委員のなり手が少なく、高齢化しており困っている。
●ケアマネージャーと地域包括支援センター、行政の情報共有など、横の連携をシステム化してほしい。
●認知症は在宅介護では限界があるので、グループホームの充実が重要になってくる。
●タブレット端末は、高齢者にも使えるように単純な操作にすれば、介護、看護、医療連携などに活用できる。

買い物不便地の解消に向けた移動販売

移動販売実験プロジェクト
×
生活文化常任委員

歩いて行ける範囲に商店がないなどの買い物不便地の緩和を図るため、福祉団体等と連携し、生鮮食品などを移動販売する実験プロジェクトを実施します。より良い取り組みにするべく平成27年10月20日に実験プロジェクト参加者30名と意見交換しました。

実験プロジェクトおよび今後の取り組みに対する意見は

●坂道や交通事情の問題など、それぞれの地区にさまざまな課題がある。地域の特性に応じた細やかなニーズ把握が必要だと考える。
●事前に顧客数を把握しておくことが事業の成功につながると思われる。実験段階においても、正確な人数を把握した上で取り組むべきである。
●食品などの小売事業は利益率が低いため、全体的に不便地に対応することは困難である。今



生鮮食品の移動販売を実施

後、採算性や公平性を考える上で、支援地域の選定基準や必要性について客観的な基準を持つておくべきだ。
●採算性を確保することが大切であるが、事業の立ち上げにあたっては、一定の予算を確保してほしい。

自転車の安全運転やマナー向上

交通安全協会・高齢クラブ連合会
交通安全シルバーリーダー
×
建設企業常任委員

健康増進や環境問題への関心の高まりなどから、自転車の利用者が増加傾向にあります。自転車の安全運転やマナー向上の取り組みについて、平成27年11月10日に交通安全協会、高齢クラブ連合会、交通安全シルバーリーダーの計21名と意見交換しました。

自転車運転のマナーに対する意見は

●携帯電話を使用しながらの運転や通学途中の自転車並走、右側通行などの違反が多く見受けられる。
●自転車の走行ルールの教育だけではなく、もし交通事故を起こした場合に、どれだけ重大な責任が発生するかなど、自転車を運転する上での責任について意識の向上が必要だと思われる。

放置自転車対策について

●放置自転車が多いと美観を損ね、観光地としての値打ちが下がり、

市の品位も下がる。放置自転車対策を徹底してほしい。
●放置自転車対策として、駐輪禁止区域にコーンを設置しているが、まちの美観を損ねている。禁止区域にするより駐輪ラックを設置してはどうか。



駐輪ラック設置で美しいまちへ

意見書を提出

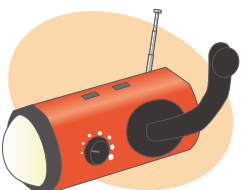
意見書1件を可決し、政府・関係機関に送付しました。以下はその要旨です。
◎ブラッドパッチ療法法の保険適用および脳脊髄液減少症の治療推進を求める意見書
脳脊髄液減少症の治療法であるブラッドパッチ療法は、平成24年には先進医療と承認され、26年の先進医療会議で有効率82%と報告されたにも関わらず、保険適用外とされている。よって、政府におかれては、ブラッドパッチ療法を保険適用とすること、厚生労働省の研究事業において18歳未満の症例を加えること、脳脊髄液減少症の早期発見・早期治療のため医療関係機関への情報提供を徹底することについて、適切な措置を講じられるよう強く要望する。

請願

▽不採択となった請願△
○「安保法制」廃止の意見書を国に提出するよう求める請願
○安全保障関連2法（国際平和支援法、平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書採択についての請願
○住民投票条例案の慎重審議と継続審議にするよう求める請願
○「所得税法第56条の廃止を求める意見書」についての請願
○（仮称）明石市東部中学校給食センター予定地の土壌汚染に関して慎重な調査・評価・対策を求める請願

議員ふもやま話

2011年3月11日に東日本大震災がありました。4月には市議会議員選挙があり、どうすることもできませんでしたが、選挙後の5月に一人の明石市民として宮城県東松島市でボランティア活動を行いました。現地では、仮設住宅への物資の搬入や浸水家屋の泥出し作業等に参加しました。あるお宅での作業中、その家人に震災後、何が一番役に立ったのかと聞いたところ、手回し発電機内蔵で、懐中電灯やラジオ、携帯電話の充電機が一体になったものだそうです。ホームセンター等で2千円から3千円で販売しており、さっそく、私も準備をしました。「備えあれば憂いなし」とは『書経』の言葉ですが、今年もまた、何事にも「備え」を怠らない日々でありたいと思います。



次回の議会報告会のお知らせ

日時：2月13日(土) 午前10時より 場所：市役所市議会棟2階大会議室
内容は、各常任委員会からの報告などを予定しています。どなたでも参加できます。(定員75名)